旅先でこそ、良質な布団で体を癒してあげたい

『加賀屋』が選んだ「快眠布団」は翌日の旅をより快適にします

⬆雪月花棟の18～20階にある特別階「浜離宮」。こちらは20階の迎賓室「天游」。障子を開けると窓には七尾湾や能登島が広がる。

⬆「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」31年連続1位の加賀屋。●石川県七尾市和倉町ヨ部80　☎0767・62・1111　チェックイン15時/チェックアウト11時

➡「エアウィーヴ四季布団」の布団カバーのキルト生地は肌触りもよい。カバーはもちろん、なかのコア素材もすべて丸洗いできる。

「今朝起きたら、なんだか体が軽くて、腰もとても楽だったよ」

お客様にいただいたこの言葉が、ほんとにうれしかったと微笑む『加賀屋』の中女将・長谷川明子さん。『加賀屋』が「エアウィーヴ四季布団」を、最上級の客室「浜離宮」に導入したのは平成22年12月中旬のこと。

「年末年始は、お客様にとって一年でいちばんほっとできるとき。この時期に加賀屋にいらっしゃるお客様に心からくつろいでいただくために、何ができるだろうかと思い巡らせていたとき、エアウィーヴとの出会いがありました」（長谷川さん）

それはＡＮＡ国際線のファーストクラスにエアウィーヴが導入されたというニュースだった。長時間のフライトでも疲れにくいと評判のマットレスパッド。限られた時間と空間のなかでお客様への最高のもてなしを考えるＡＮＡが採用するエアウィーヴを、ぜひ試してみたいと思った。ちょうどそのころ、それまでマットレスパッドのみだった商品に新しく敷き布団タイプが登場することを知る。縁があるのではないだろうか、とも思ったと話す長谷川さん。

「実際に試してみますと、布団が体全体を包み込んでくれるような、そんな安らぎのなかにも、しっかりと支えられている感じがあって、その心地よさに驚きました」

寝返りが楽だと熟睡できる

柔らかい敷き布団は体が深く沈むため、寝返りを打つときに力が入って目覚めてしまったり、翌朝、体が硬くなっていることがある。早稲田大学スポーツ科学学術院の内田直（すなお）教授の実験によると、エアウィーヴは素材に復元性があるため一般の寝具に比べ寝返りが楽にでき、熟睡を妨げない。適度な反発力もあり体が沈みこみすぎず、腰の重みも感じにくいという。

「温泉で心と体をほっこりと温め、リラックスした体で心地よくぐっすりと眠っていただきたいという思いを、エアウィーヴが実現してくれました」（長谷川さん）

⬆「ベッドルームのベッドにはエアウィーヴのマットレスパッドを導入しております。和室だけでなく、ベッドルームでも快適な寝心地でお休みいただきたい」と話す中女将・長谷川明子さん。

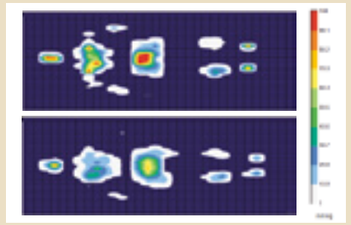
⬆海から湧く塩化物泉は、体がほかほかと温まり、いつまでも湯冷めしない。飲むと胃腸にやさしく整腸作用がある。

心地よい眠りを導く「エアウィーヴ四季布団」

⬆三つ折り部分のみ特殊加工を施し、簡単に折り畳むことができる。また、左右に大きめの取っ手がついているので運ぶのも楽だ。

⬆独自の極細繊維状樹脂を三次元に組み合わせ、空気の層を作りあげたコア素材。復元性が高く、体の動きにスムーズに反応、反発する。

⬆コア材の90%以上が空気でできているため、内部に湿気がこもらず、カビやダニが発生しにくい。冬は暖かく、夏は蒸れず、一年中快適だ。



⬆「体圧分散図」。下図がエアウィーヴ使用時のデータ。上図と比べると下図は体圧の高い赤い部分がなく均一に分散されていることがわかる。

問ウィーヴァ　ジャパン　☎0120・824・811（10:00～17:00　土日祝休み）　http://airweave.jp/